

**未来を拓く  
「幸せローカル」**  
Happy local  
**No.8**

日本再生の鍵は「ローカル」にあり！  
地域と日本の未来を拓く、  
先駆的な取り組みに迫る。

# 今こそ、見せる！ ニッポン観光業の底力

**特別座談会**

座談会出席 青年会議所メンバー

コロナ禍で大きな打撃を受ける観光業界——。  
全国各地でホテル・旅館を運営する4名が集い、  
業界の今とこれからの展望を語り合った！

## それぞれの地域に根づいた ホテル・旅館の歴史

——会社の紹介を。

**桑島** 1960年に祖父が創業した北こぶしリゾートは、世界自然遺産に指定されている知床半島の玄関口・宇登呂で宿泊業を営んでいます。「知床から、世界に誇る北のリゾートへ」をコンセプトに、「北こぶし知床ホテル&リゾート」「KIKI知床ナチュラルリゾート」「夕陽のあたる家 Onsen Hostel」の3館・全380室体制で、知床の自然を生かしたネイチャールゾートをご提案しています。

**成田** 私たちキャッスルホテルが運営する「ホテル・ロッジ舞洲」は、大阪市此花区の舞洲スポーツアイランドにあります。この島は2008年に大阪にオリンピックを誘致するために整備を進めた人工島

を宿泊業で生かしたいと申し出て、単身総社市に移住。厚生年金休暇センターのスタッフに継続して勤務してもらい、宿泊業のノウハウを教えてもらいました。以来、リゾートホテル「サントピア岡山総社」としてがんばっています。

**緒方** 両築は、老舗ホテルの支配人を長年務めていた父が独立して興した会社です。2008年には大分県由布市湯布院町に「御宿由府両築」、2010年には別府市観海寺に「美湯の宿 両築別邸」を開業し、合わせて50室の旅館を運営しています。当初は父母が趣味で営んでいるという認識でしたが、大学4年生のときに母が病気を患い、帰省して旅館を手伝ったことがありました。そのとき、お客様に心から喜んでいただきたいと思いながら仕事をしている自分に気づき、「楽しいな。私、この仕事に向いているな」と感じてしまったんです(笑)。それで26歳になったとき両築に戻ってきました。

## コロナ禍を契機に、 シフトチェンジに打って出る

——コロナ禍の影響は。

**桑島** 昨年2月ぐらいから客足が落ちてきて、4〜6月はほぼ全館休館を余儀なくされました。7月にはGOTOキヤ

知床の地域ブランドをさらに  
上げていきたい！



**桑島敏彦君**  
一般社団法人斜里青年会議所  
北こぶしリゾート 専務取締役 COO

都心部において  
緑の空間で過ごす価値を  
発信したい



**成田收彌君**  
一般社団法人明石青年会議所  
株式会社キャッスルホテル 専務取締役

地域をよくしたいと  
がんばっている姿を見ると  
刺激を受ける



熊本地震の際に駆けつけて  
くれたメンバーに、  
絆の強さを実感

新しい挑戦に対し、  
一歩先んじて  
動ける人でありたい



**樋口一真君**  
公益社団法人高松青年会議所  
大洋開発株式会社 取締役室長

別府・湯布院全体として  
日本の観光業を  
盛り上げたい



**緒方真美君**  
公益社団法人別府青年会議所  
株式会社両築 専務取締役

ですが、別の開催地候補の北京に敗れ、その後は大阪市の負の遺産として多額の赤字を生み続けるエリアになっていました。そのため、民間に売却しようと市が公募を行い、私たちが当時は野外活動研修施設だった50室のホテル棟と14棟のログハウスをすべて購入し、2014年から大阪リゾート「ホテル・ロッジ舞洲」として運営に取り組んでいます。

**樋口** 私の地元は香川県高松市で、家業は製材業、私が現在勤める大洋開発はボウリング場などを運営するサービス業でした。それが2009年の厚生年金休暇センター一斉売却を受け、祖父が岡山県総社市にある「サントピア岡山総社」を購入。急遽、畑違いの宿泊業に参入したんです(笑)。当時、私は大阪で就職活動中でしたが、大学で学んだマーケティング

ンペーンなどで一時客足が戻りましたが、その後は低調が続く、昨年度の売上は前年度比の50%以下となっています。

**成田** 私どももほぼ一緒です。昨年末の第3波までは少しずつ右肩上がりで推移したのですが、第3波で年末年始の需要がしばみ、全体を通して見ると昨年度の稼働率は20%台というところでした。

**樋口** 「緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」が出るか出ないかを日々ニュースでチェックする状態でした。宣言が出た途端にキャンセルが相次ぎ、満室がゼロ室になることもあり、昨年度の稼働率は25〜30%という状況でした。

**緒方** 現在、大分県は感染者ゼロということもあってお客様が戻ってきていますが、昨年度の稼働率は3割ほどでした。

——そうした中、どんな取り組みを。

**桑島** 私たちは「北のネイチャールゾートになる」ことを目指し、建物などのハードに対して毎年何らかの投資を行っており、今年はサウナを大々的にリニューアルしました。それが流水をイメージした「カクウナ」と、木の洞窟をイメージした「ウネウナ」です。どちらにも大きな窓が設置され、眼下には知床の大自然が広がり、冬にはオホーツク海の流水を眺めることもできます。6月19日にオープンし、



大好評をいただいています。

**成田** 現在、大阪観光局と連携し、舞洲スポーツアイランド全体のエリアマネジメントに取り組んでいます。そのキーワードが「グリーンツーリズム」です。大阪都心からほど近い舞洲を未来のグリーンツーリズムのショーケースとすることで、都市部において緑の空間で過ごす価値を発信していきたいと思っています。2025年には舞洲の隣の人工島・夢洲で万博が開催される予定ですので、それまでに新たな舞洲を創造したいと考えています。

**樋口** 何か新しいことを始めなければという思いから、月に1回皆が集まる営業会議では様々なアイデアや意見が出されました。その一つがグランピング施設の新設で、8月1日にオープンする予定です。6月から予約をスタートしましたが、ありがたいことに8月末まで予約が95%埋まっています。製材業で出た端材をキャンプファイヤーのチップに活用するなど、グループ間でSDGsの取り組みを推進しながら、お客様に資源や自然の大切さを発信していきたいです。

**緒方** うちは団体も個人のお客様も受け入れてきましたが、一方でホテルのコンセプトが定まらないという悩みもありました。そんな中、コロナ禍で団体のお

の方たちが親身になってアドバイスくれますし、議案などの書き方についても的確に指導してくださいます。青年会議所の活動を通して、自分の不足している部分などを改めて見つめ直すことができました。

**緒方** 2016年の熊本地震の際には由布市も甚大な被害を受け、「御宿 由府両築」も半壊しました。そんな中、真っ先に駆けつけてくれたのが、今年度のJCI日本大分ブロック協議会会長である中根竜君です。その後も青年会議所のメンバーが続々と駆けつけてくれ、絆の強さを実感しました。卒業まで後2年、恩返しができるようにがんばります。

**桑島** 北こぶしリゾートがいたから知床のイメージがあがってきたよねといわれるように、地域ブランドを上げていきたいですね。そして、そこによい循環が生まれ、さらに地域ブランドが高まっています。私は今年で40歳なので、あと20年間でそれを達成したいと思っています。

**緒方** 私たちの旅館は別府市・観海寺温泉と、由布市・湯布院温泉にあります。

## 美湯の宿 両築別邸



1「御宿 由府両築」の外観。2016年の熊本地震の際は、地震で半壊した旅館の再建のために青年会議所のメンバーたちが駆けつけてくれた／2「美湯の宿 両築別邸」の75m<sup>2</sup>のプレミアムルーム。別府の夜景と大自然を眺めながら、ゆったりとくつろげる／3コロナ禍を機に全室部屋食に変更。別府湾を一望できる客室での食事は大好評／4家族で入れる貸切風呂(3室)も用意

## サントピア岡山総社



1サントピア岡山総社の空撮写真。約18万㎡の敷地にはホテルやプール、体育館、屋外コート、キッズパークなどがあり、様々なスポーツやレジャーを楽しめる／2洋宴会場「マスカットホール」／3岡山県内最大級のプール「レジャープールWAPS(ワップス)」。夏には子供たちの笑い声が響く／42021年8月オープン予定のグランピング施設の内観

## ホテル・ロッジ舞洲



1ホテル別館「ネス」の最上階テラスは夕陽の絶景ポイント。六甲山から淡路島まで見渡せる／2ガーデンの中央には、ゆったりと火を眺める時間を楽しめる「森の焚き火リビング」／3開放感あふれるロケーションに広がる、全500席の屋根付きBBQサイト「森とリルのBBQフィールド」／4広大な庭では、あじさいの挿し木体験を楽しむこともできる

## 北こぶしリゾート



16月19日にリニューアルオープンしたサウナ「カクウナ」(北こぶし知床ホテル&リゾート内)／2「北こぶし知床ホテル&リゾート」の流水テラス／3「KIKI知床ナチュラルリゾート」のキッズスペース「あそびの森」／4「夕陽のあたる家 Onsen Hostel」のロビー／5北こぶしリゾートでは、ヒグマと人とお互いに住みよいまちづくりを目指す「クマ活」に取り組んでいる

この2箇所は遠いようで実はとても近いのです。将来的には別府と湯布院をつなぐもの、例えば一緒にできるアクティビティなどをつくって、それぞれの地域だけではなく別府・湯布院全体として日本の観光業を盛り上げていきたいですね。

**成田** 私は「異文化の日常に触れに行く」ことが観光の醍醐味だと思っています。近年、世界は8大文明といわれており、その中でも日本文明は極めて独自性が高いとされています。その観点からすると、私たち日本人の日常は異文化圏の人にとってクールに見えるのではないのでしょうか。そのことに地域の人たちが気づき、異文化圏の人たちが体験できる環境を整備し、うまくプレゼンテーションをしていく。そうした取り組みの先に、日本の観光のあり方を変えていくことができるのではないかと考えています。

**樋口** 新しいことに挑戦する際はともすれば恐いと感じたり、失敗したらどうしようとの足を踏んだりするものですが、そんなとき一歩先んじて動ける人でありたいと私は思っています。コロナ禍など未曾有の危機のときこそ、思考を止めるのではなく、自分たちで考え、自分たちで答えを出し、常に新しいことに果敢に挑戦していきたいと考えています。

お客様が皆無になったことを受け、大胆なシフトチェンジをしました。団体向けプランの販売をやめ、1〜2歳のお子様がいらつしやるご家族をメインターゲットに据えて、未就学児は無料というファミリープランを販売したので。このプランはお客様から大反響をいただき、今では「子供にやさしい宿」「赤ちゃんに人気の宿」という評判が定着し、週末は子供であふれるようになりました(笑)。

**つながった先で広げる**  
青年会議所で教わった概念

青年会議所で学んだことは。

**桑島** 私はJCI斜里に所属していますが、自分よりも年下の方たちが地域をよくしたいとがんばっている姿を見るととても刺激を受けますし、そういう人たちと出会えたのは私の財産だと思います。

**成田** 青年会議所の活動は、行った先で仲間をつくり、その仲間たちとつながり続け、チャンスがきたら仲間たちと一氣に広げていくという特徴があると思います。「つながっていく」、そして「つながった先で広げていく」。その大切さを教えてもらいましたし、これは事業においても有効な概念だと思います。

**樋口** 青年会議所では同期や先輩・後輩